

紋別市のあゆみ

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
1685	貞享2年		松前藩宗谷場所を開設。(紋別漁場は宗谷場所に属す)
1790	寛政2年	5月	宗谷場所を3分割し樺太、斜里場所が独立する。
1790	寛政2年		紋別番屋の開設。
1801	享和元年		エゾ地御用掛松平忠明に随行の磯谷則吉紋別番屋に4日間滞留する。
1807	文化4年		エゾ地全島幕府の直轄となる。
1807	文化4年		宗谷斜里警備の津軽藩士に水腫病発生し翌春にかけて多数の死亡者出る。
1821	文政4年		エゾ地松前藩に復領。
1846	弘化3年	7月	松浦武四郎北見沿岸を踏査し紋別に寄行。
1855	安政2年		西エゾ地神威岬からオホーツク海岸知床岬までと樺太は秋田藩の警備持場となる。
1857	安政4年		紋別御用所でカップル(ストーブ)2器取り付け。
1859	安政6年		エゾ地を奥羽6大藩に分領し紋別は会津藩領となる。
1859	安政6年		紋別番屋前で牝馬1頭出産。(紋別ではじめての馬が生まれた)
1866	慶応2年		会津藩士靱山省介北見国代官として紋別に着任。翌年帰藩。
1868	明治元年	4月 12日	箱館裁判所設置。
1868	明治元年		箱館裁判所を箱館府と改称。
1869	明治2年	7月 8日	開拓使が置かれる。
1869	明治2年		エゾ地を改めて北海道とし、11国86郡を定め北見国のうち紋別郡が誕生。
1869	明治2年		紋別郡は和歌山藩支配地となる。(翌年8月免ぜられる)
1869	明治2年		紋別場所は函館使庁産物掛の管理となる。
1872	明治5年	3月	紋別郡10ヶ村の村名が決まりモンベツ村と呼称。
1872	明治5年	4月 28日	紋別郡戸長に盛田辰蔵任命。
1872	明治5年		官立紋別病院設置。
1872	明治5年		藤野伊兵衛駅通所を開設。
1875	明治8年		村名を漢字に改め紋別村となる。
1876	明治9年		駅通局所管5等紋別郵便取扱所開設。
1876	明治9年		漁場持制度を廃し漁業権を開放。
1876	明治9年		紋別、斜里、網走に根室から官馬10頭配備。
1877	明治10年	4月	紋別に浦役場設置。
1880	明治13年	7月 15日	紋別戸長役場開設。戸長事務取扱いに竜田治三郎を任命。
1880	明治13年	7月 15日	この年を「開基の年」と定める。
1882	明治15年	2月	開拓使を廃止し、全道を札幌、函館、根室の三県に分割。
1882	明治15年		2代目戸長に半沢真吉就任。
1883	明治16年		紋別郡一円を管内とする紋別巡査派出所の設置。
1885	明治18年		紋別郡鮭漁業組合設立。
1886	明治19年	1月 26日	三県制を廃し北海道庁設置。
1886	明治19年		古屋憲英、静春堂病院開業。
1886	明治19年		紋別学舎の開設。
1886	明治19年		根室始審裁判所紋別登記所設置。
1886	明治19年		紋別魚粕製造組合設立。
1887	明治20年		戸長役場庁舎新設。
1887	明治20年		行政と警察制度が一本化され、坂本戸長分署長を兼任。
1888	明治21年		紋別水産組合設立。
1891	明治24年		網走から紋別經由稚内に達する電信線が架設され、紋別郵便局に電信局を併置。
1892	明治25年		修業年限3ヵ年の紋別簡易小学校が開校。
1892	明治25年		橋詰正夫戸長兼署長に就任。
1892	明治25年		紋別簡易小学校開校。
1893	明治26年		紋別納税所建設される。
1894	明治27年		田村順厚戸長兼署長に就任。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
1895	明治28年		高橋重郎戸長兼署長に就任。
1895	明治28年		紋別簡易小学校が紋別郡唯一の正規の尋常小学校となる。
1897	明治30年		紋別外9カ村戸長役場から湧別村分離。
1897	明治30年		商業者が紋別商業談話会設立。
1897	明治30年	10月	郡役所を廃し支庁を置き、地方行政から警察行政が分離独立した。
1898	明治31年	9月	渚滑川大出水。原野は大水害に見舞われる。
1899	明治32年		根室裁判所紋別出張所設置。
1899	明治32年		山梨県人伏屋よしの質屋業開始。(質屋のはじまり)
1900	明治33年	5月	紋別消防組、公認認可。
1900	明治33年		下渚滑簡易教育所、中渚滑簡易教育所、上渚滑簡易教育所開校。
1900	明治33年		小向官設駅通所開設。
1900	明治33年	11月 1日	渚滑村分村し、渚滑村戸長役場を開設、初代戸長は紋別戸長宮下謙松が兼任。
1901	明治34年		紋別簡易小学校が尋常高等小学校となる。
1903	明治36年		湯屋から出火し前浜通り一帯の中心街を焼く。
1903	明治36年		渚滑村役場庁舎を14線に新築移転。
1904	明治37年		紋別名寄間道路開通。
1905	明治38年	12月	菅原栄之進、八十士金鉾を発見。
1906	明治39年		渚滑村戸長役場を廃し2級町村制を施行。初代村長に宮下謙松が就任。
1907	明治40年	4月	紋別外1カ村漁業組合設立。
1907	明治40年		藻別村で初の水田試作行う。
1907	明治40年		網走外3郡産牛馬組合紋別支部結成。
1908	明治41年		網走営林区署紋別分署設置。
1909	明治42年	4月 1日	沙留村、瑠椽村の2村を分離し、藻別村を合して2級町村制を施行し紋別村となる。
			初代村長に池沢享就任。
1909	明治42年		第1回村会議員選挙施行。
1909	明治42年		町有漁業権貸付規則制定。
1912	大正元年		樋口金蔵2代村長に就任。
1913	大正2年		この冬大雪のため瀬川牧場で馬百数十頭が斃死。
1913	大正2年		大凶作。
1914	大正3年	2月	紋別商業談話会が紋別商業組合に改称し設立。
1915	大正4年	4月	国立十勝種馬牧場渚滑種付所開設。
1915	大正4年	5月	紋別魚市場開設。
1915	大正4年		渚滑村役場庁舎20線に移転。
1915	大正4年	11月	沖野永蔵、羽柴義謙、鴻之舞元山口之沢で転石を発見。
1916	大正5年	3月	黒川辰造外7名、沼の上鉾山を発見。
1916	大正5年	6月 13日	鴻之舞金山は8名の匿名組合で操業を開始。
1916	大正5年	12月	大時化により漁船の大量流出、家屋諸施設被害。
1917	大正6年	1月 6日	紋別市街に特設電話架設。
1917	大正6年		鴻之舞金山は90万円で住友本社と売山契約成る。
1917	大正6年		古田重静4代紋別村長に就任。
1918	大正7年	4月 1日	渚滑村から滝上村が分離独立。
1918	大正7年	7月 1日	紋別電気株式会社が開業。通電。
1919	大正8年	4月 1日	紋別町と改称される。古田重静初代紋別町長に就任。
1919	大正8年		初代町議会議員選挙執行。
1919	大正8年	秋	藻別川氾濫。
1920	大正9年	4月	国上国太郎2代目町長に就任。
1920	大正9年	10月	第1回国勢調査実施。
1920	大正9年		紋別電灯会社設置されガス発電により町内に点灯。
1921	大正10年	2月	新沼文治郎、紋別における郷土史としては初の「紋別町誌」発刊。
1921	大正10年	3月 25日	国鉄名寄本線全線開通。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
1921	大正10年	4月 1日	1級町村制に昇格。
1921	大正10年	6月	1級町村制施行最初の町議会議員選挙執行。
1921	大正10年	7月 16日	岩倉梅吉3代町長に就任。
1921	大正10年		網走警察署紋別分署が本署に昇格。
1922	大正11年		沼ノ上郵便局開局。
1922	大正11年		渚滑川の氾濫で下渚滑一帯水浸しとなる。
1922	大正11年	9月	ホタテ漁船の大海難事故発生。
1923	大正12年	4月	紋別港修築工事5ヵ年継続事業で着工。
1923	大正12年	11月 5日	国鉄渚滑線開通。
1924	大正13年		タラバガニ缶詰工場創設。
1924	大正13年		沖合漁業が盛んとなり、カマボコ、チクワ類の製造が行なわれる。
1925	大正14年	8月	福田瑛三4代町長に就任。
1927	昭和2年	3月	渚滑家畜市場開設。
1927	昭和2年		古屋正気紋別漁業協同組合長に就任。
1927	昭和2年		紋別商工会設立。
1928	昭和3年		土門玄吾5代町長に就任。
1928	昭和3年		大西真平道議に当選。
1929	昭和4年		区長区域定まる。
1929	昭和4年		紋別町開発期成同盟会設立。
1929	昭和4年		海水浴場設置。
1930	昭和5年	4月 1日	紋別裁縫学校開校。
1930	昭和5年	4月 17日	紋別市街の大火災発生。(～18日)
1931	昭和6年		池沢享三王鉦山開発に着手。
1931	昭和6年		北防波堤灯台完成。
1931	昭和6年		函館地方専売局紋別たばこ販売所設置。
1931	昭和6年		大凶作。
1932	昭和7年	6月 1日	渚滑村から下渚滑村分村。
1932	昭和7年	8月	上水道給水開始。
1932	昭和7年	8月	渚滑村で大水害発生。
1932	昭和7年		冷害凶作。
1932	昭和7年	11月 16日	紋別産業組合発足。
1933	昭和8年		紋別税務署開設。
1933	昭和8年		紋別魚市場が紋別魚菜卸売市場に改称。
1933	昭和8年		中藻別郵便取扱所開設。
1933	昭和8年		鴻之舞郵便局開設。
1933	昭和8年		三王鉦山を住友が買収。
1934	昭和9年		渚滑川治水工場を設け、河川切替工事着手。
1934	昭和9年	12月	公益質屋開設。
1934	昭和9年	10月	鴻之舞鉦山ダム決壊し鉦毒事件発生。
1934	昭和9年		冷害凶作。
1935	昭和10年	3月	紋別漁業協同組合発足。
1935	昭和10年		冷害凶作。
1936	昭和11年		古屋正気、土田巳之助道議に当選。
1936	昭和11年		紋別小学校校庭で皆既日蝕の観測を行なう。
1936	昭和11年		鴻之舞金山の11年の産金高が全国1位を記録。
1937	昭和12年	8月 19日	紋別町銃後後援会結成。
1937	昭和12年	12月	渚滑村を上渚滑村に村名改称。
1938	昭和13年	4月 29日	町村制発布50周年記念式典挙行。
1938	昭和13年	8月	池沢憲一、音羽鉦山を発見。
1938	昭和13年		知見喜一郎、元紋別銅山を発見、住友と共同経営。

西 曆	年 号	月 日	で き ご と
1938	昭和13年		上藻別郵便局取扱所開設。
1938	昭和13年		役場庁舎新築落成。
1938	昭和13年		職業紹介所開設。
1939	昭和14年	4月	紋別実科高等女学校開校。
1939	昭和14年		旧『紋別町史』編さんに着手。
1940	昭和15年	1月 1日	下渚滑村を渚滑村に村名改称。
1940	昭和15年		町役場鴻之舞出張所開設。
1940	昭和15年		鴻之舞に武道場開設。
1940	昭和15年		小向郵便取扱所開設。
1940	昭和15年		八十士水銀鉱発見。
1940	昭和15年	12月 25日	開基60年記念式典挙行。
1941	昭和16年	1月 22日	町内会、部落会の設立。
1941	昭和16年	4月 1日	市章制定。
1942	昭和17年		紋別町文化委員会発足。
1942	昭和17年		紋別国民職業指導所開庁。
1942	昭和17年		小向重粘土試験場設置。
1942	昭和17年		住友鉱業八十士水銀鉱山の開発に着手。
1942	昭和17年		鴻之舞に北見地方初のプール開設。
1943	昭和18年	4月 1日	紋別国民学校(現 紋別小学校)を仮校舎に、紋別中学校(旧制)開校。
1943	昭和18年		新津長6代紋別町長に就任。
1944	昭和19年	2月	紋別産業組合が解散し、紋別町農業会発足。
1944	昭和19年		日本医療団紋別病院開業。
1944	昭和19年		旧『紋別町史』発刊。
1946	昭和21年	7月	港まつり復活。
1946	昭和21年	11月	紋別体育連盟発足。
1946	昭和21年	12月	農地委員会発足。
1947	昭和22年	4月 5日	公選初代町長に大西真平当選。
1947	昭和22年	5月	紋別市都市計画区域指定。
1947	昭和22年	5月	新制中学校として各地に中学校を一斉開校。国民学校は小学校、高等科は中学校に編成替え。
1947	昭和22年	5月	紋別区検察庁設置。
1947	昭和22年	5月 3日	紋別簡易裁判所設置。
1947	昭和22年	5月 3日	裁判所から分離し、旭川司法事務所紋別出張所として独立。
1947	昭和22年		道議会議員に古屋正気、参議院議員に岡村文四郎が当選。
1947	昭和22年	7月	消防団令の公布で紋別警防団を紋別消防団に改組。
1947	昭和22年	12月	大山スキー場開設。
1948	昭和23年	2月 25日	紋別市農業協同組合設立。
1948	昭和23年	3月	紋別町警察署開庁、公安委員会発足。
1948	昭和23年	4月	旧制中学校が北海道立紋別高等学校、女学校が北海道紋別女子高等学校と改称。
1948	昭和23年	7月 1日	遠軽保健所紋別出張所開設。
1948	昭和23年	8月 1日	道立紋別病院開院。
1948	昭和23年		紋別港の第3期拡張工事着手。
1948	昭和23年		鴻之舞鉱業所操業再開。
1948	昭和23年	10月	北海道立紋別高等学校に定時制併置。
1949	昭和24年	4月	北海道紋別女子高等学校を道に移管し、北海道立紋別女子高等学校となる。
1949	昭和24年	6月 1日	旭川司法事務所紋別出張所から旭川地方法務局紋別出張所に改称。
1949	昭和24年	8月	紋別漁業用短波海岸局開局。
1949	昭和24年		沼の上に家畜人工授精所が設置。
1949	昭和24年		衆議院議員に松田鉄蔵が当選。
1949	昭和24年		開基70年記念式典挙行。
1949	昭和24年		紋別町に監査役員制度おかれる。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
1949	昭和24年		紋別南簡易郵便局開局。
1949	昭和24年		沼ノ上に家畜人工授精所設置。
1950	昭和25年	4月	紋別高等学校と紋別女子高等学校が併合し、北海道紋別高等学校として男女共学となる。
1950	昭和25年		紋別特定郵便局、普通郵便局に昇格。
1950	昭和25年		紋別市街海岸通りに火災発生56棟、72戸を全焼。
1950	昭和25年		町役場鴻之舞出張所が支所に昇格。
1950	昭和25年		紋別電報電話局開局。
1950	昭和25年		小向に家畜人工授精所設立。
1950	昭和25年	10月 1日	旭川地方裁判所紋別支部、旭川家庭裁判所紋別支部併置。
1951	昭和26年	2月	紋別商工会議所発足。
1951	昭和26年	7月	農業委員会発足。
1951	昭和26年		道立水産試験所紋別分場設置。
1952	昭和27年		元紋別簡易郵便局開局。
1952	昭和27年	5月	紋別公園開園。
1952	昭和27年	7月	紋別町公民館開館。
1952	昭和27年	8月	市営野球場開場。
1952	昭和27年	10月	紋別町教育委員会発足。
1952	昭和27年		道総合開発第1次5カ年計画策定。
1952	昭和27年		乙荷揚場工事に着工。(完成30年)
1952	昭和27年		市街地区の呼び名である区・14区を10区域の新行政区町名に整理統合。
1952	昭和27年		紋別町公民館内に公民館図書室を設置。
1953	昭和28年	1月	遠軽保健所紋別支所から紋別保健所に昇格。
1953	昭和28年		西紋別郡地方の冷雨凶作がこの年から連続5年間続いた。
1953	昭和28年	11月 1日	釧路海上保安部紋別分室設置。
1954	昭和29年	3月 1日	3町村(紋別町、上渚滑村、渚滑村)合併市制施行促進期成会発足。
1954	昭和29年	7月 1日	紋別町・上渚滑村・渚滑村合併、市制施行。(道内19番目)
1954	昭和29年	8月 8日	初代市長ならびに市議会議員(定数45)選挙を執行。
1954	昭和29年		初代市長に大西真平が就任。
1954	昭和29年	9月 28日	市制施行記念式典挙行。(～30日)
1954	昭和29年	10月 3日	市制施行記念市民大運動会開催。
1954	昭和29年	10月	釧路海上保安部紋別分室が紋別海上保安署に昇格。
1954	昭和29年		紋別市労働会館建築。
1955	昭和30年		紋別市婦人団体連絡協議会発足。
1955	昭和30年		上渚滑地区公民館、渚滑地区公民館設置。
1955	昭和30年		広崎協同漁業部所属第18弁天丸遭難、乗組員8人全員死亡。
1955	昭和30年		田中利明世界卓球選手権個人優勝。(32年再度優勝)
1955	昭和30年		第1回もんべつ観光港まつり開催。
1956	昭和31年		紋別市立女子高等技芸学校設置認可。
1956	昭和31年	1月 1日	紋別測候所業務開始。
1956	昭和31年	4月 1日	北見職業安定所紋別出張所が紋別職業安定所に昇格。
1956	昭和31年		紋別青年会議所発足。
1956	昭和31年		渚滑保育所新設。
1956	昭和31年		散水事業開始。
1956	昭和31年	12月	正月用門松カードの全戸配布開始。
1957	昭和32年	2月 13日	根室区裁判所紋別出張所設置。
1957	昭和32年	4月	ごみ収集業務直営化。
1957	昭和32年		無線方位信号所設置。
1957	昭和32年	6月 7日	市長を退任した大西真平に名誉市民第1号の称号を贈る。
1957	昭和32年	6月 30日	市長および市議補欠選挙執行。
1957	昭和32年		官尾貫市2代目市長に就任。

西暦	年号	月日	できごと
1957	昭和32年	7月 22日	名誉市民 大西真平死去。市葬。
1957	昭和32年	7月 27日	市制3周年記念式典。(～29日)
1957	昭和32年		紋別中学校10周年記念および校舎落成記念式典。
1957	昭和32年		公共下水道事業認可。
1958	昭和33年	5月	網走土木現業所興部出張所紋別除雪センター開設。
1958	昭和33年		堀川才治郎市議死去。市議会葬。
1958	昭和33年		国民健康保険事業が始まる。
1958	昭和33年		青年研究所新築落成。
1958	昭和33年		「紋別港湾10カ年計画」策定。
1958	昭和33年	8月 3日	市議会議員(定数30)選挙を執行。
1958	昭和33年	10月	紋別墓園供用開始。
1959	昭和34年		巡視船「そらち」配置される。
1959	昭和34年	5月	紋別市統計協議会設立。
1959	昭和34年		紋別観光協会創立。
1959	昭和34年		三菱沼の上鉢山閉山。
1959	昭和34年		住居表示、字名区域の全面的見直しにより地番変更。
1960	昭和35年		青年問題協議会設立。
1960	昭和35年	7月 20日	開基80周年記念式典挙行。(～25日)
1960	昭和35年		「紋別市史」発刊。
1960	昭和35年		紋別灯台点灯式。
1961	昭和36年		国民年金業務開始。
1961	昭和36年	3月 31日	紋別市立女子高等技芸学校開校。
1961	昭和36年	4月 1日	紋別市立花園高等学校開校。
1961	昭和36年	6月 18日	市長選。官尾貫市2期目当選。
1961	昭和36年		6年ぶりにホタテ漁解禁。
1961	昭和36年		紋別市立潮見中学校開校。
1961	昭和36年	9月 30日	財政五カ年計画策定。
1962	昭和37年		紋別海上保安署、保安部に昇格。
1962	昭和37年		広報モニター制度発足。
1962	昭和37年		南埠頭築設工事着工。(42年完成中央埠頭と改称)
1962	昭和37年		紋別畜産センター竣工。
1962	昭和37年	3月 29日	交通安全都市宣言。
1962	昭和37年	4月 2日	産業会館全焼。
1962	昭和37年	10月	NHK紋別テレビ中継放送所開局。
1962	昭和37年	10月 30日	三吉小学校閉校。
1963	昭和38年	10月	紋別空港起工式。
1963	昭和38年		少年補導センター開設。
1963	昭和38年		第1回紋別流氷まつり。
1963	昭和38年	6月	佐藤貞助氏に名誉市民の称号。(第2号)
1963	昭和38年		肢体不自由児父母の会「おやしお会」結成。
1963	昭和38年		立牛小学校閉校。
1964	昭和39年		紋別税務署庁舎落成。
1964	昭和39年		「流紋岩」市指定文化財となる。
1964	昭和39年	6月 26日	紋別振興公社設立。
1964	昭和39年	7月 1日	紋別市民憲章制定。
1964	昭和39年	7月 11日	紋別市立オホーツク青年の家開所。
1965	昭和40年		みどり保育所落成。
1965	昭和40年	4月	北海道大学低温科学研究所附属流氷研究施設開設。
1965	昭和40年	6月 6日	市長選。官尾貫市三期目当選。
1965	昭和40年		潮見地区プール完成。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
1965	昭和40年		小向原生花園が市指定文化財となる。
1965	昭和40年		北見パルプ紋別工場落成。
1965	昭和40年	11月 18日	紋別市役所新庁舎落成。
1965	昭和40年	12月 25日	北海道紋別花園高等学校が道立に移管。
1966	昭和41年	3月 28日	明るく正しい選挙都市宣言。
1966	昭和41年	3月 31日	紋別高等学校から分離した工業科と北海道紋別花園高等学校が統合し、北海道紋別南高等学校となる。
1966	昭和41年	4月 8日	アメリカ合衆国オレゴン州ニューポート市と姉妹都市提携。
1966	昭和41年		市営キャンプ場開設。
1966	昭和41年	11月	武徳殿完成。
1966	昭和41年		花園地区プール完成。
1966	昭和41年		紋別児童館落成。
1966	昭和41年		佐竹精一市議会議長死去。市議会葬。
1966	昭和41年		紋別市スキーパトロール赤十字奉仕団結成。
1966	昭和41年	7月 21日	紋別空港完成。
1966	昭和41年	8月 11日	紋別・丘珠間セスナ206A(5人乗り)就航。
1967	昭和42年	4月	図書館、博物館開設。
1967	昭和42年	4月	名誉市民佐藤貞助死去。市葬(22日)。
1967	昭和42年		上渚滑地区簡易水道通水式。
1967	昭和42年		第22回国体軟式野球北海道大会開催。
1967	昭和42年		第2船揚場完成。
1967	昭和42年		大山展望台完成。
1967	昭和42年		渚滑地区プール完成。
1967	昭和42年	6月 30日	紋別市森林組合設立。
1968	昭和43年		上鴻之舞小学校閉校。
1968	昭和43年	10月 20日	岡村文四郎元参議院議員死去。名誉市民の称号を贈る(10月)。市民葬(29日)。
1968	昭和43年		紋別警察署庁舎落成。
1968	昭和43年		紋別市郷土博物館落成。
1968	昭和43年		労働福祉会館落成。
1968	昭和43年	7月	市立養護老人ホーム安養園開設。
1968	昭和43年		国鉄コンテナ出発式。
1968	昭和43年	12月	網走支庁紋別総合庁舎建設。
1969	昭和44年	4月	紋別地方共同職業訓練所開設。
1969	昭和44年	5月 25日	紋別・丘珠間セスナ402(9人乗り)就航。
1969	昭和44年	6月 22日	市長選。菅原啓3代市長に当選。
1969	昭和44年		渚滑川1級河川に昇格。
1969	昭和44年		紋別市交通災害共済開始。
1969	昭和44年		NHK鴻之舞テレビ中継局開局。
1969	昭和44年		日本硬式野球連盟公認野球場完成。
1969	昭和44年		紋別市立南丘小学校落成。
1970	昭和45年		鴻之舞小学校、上古丹小学校閉校。
1970	昭和45年		船員保険寮落成。
1970	昭和45年		道道紋別上川線、国道(273号線)に昇格。
1970	昭和45年		遠紋地区広域市町村圏振興協議会(1市9町2村)を設立し振興計画に着手。
1970	昭和45年	10月	「紋別市総合計画」策定。
1971	昭和46年		過疎市指定。(～昭和55年3月)
1971	昭和46年		元紋別水害。
1971	昭和46年		第20回全道フォークダンス大会開催。
1971	昭和46年		柳沢長治、てん菜増産酪農健全経営で天皇杯受賞。
1971	昭和46年		上渚滑駅前商店街6戸全焼。

西暦	年号	月 日	で き ご と
1971	昭和46年		水産庁北海道さけ・ますふ化場北見支場渚滑事業所が新築落成。
1971	昭和46年	8月	紋別駅改築。
1972	昭和47年		八十士小学校閉校。
1972	昭和47年	5月 30日	紋別発丘珠行きセスナ402型機が月形町山腹に墜落事故。(以後、2年半運休)
1972	昭和47年	10月 15日	市民会館、中央公民館開館。
1972	昭和47年	10月	市公害防止令を交布。
1972	昭和47年	12月	下水道終末処理場簡易処理運転始める。
1972	昭和47年		紋別市他4町村共同し尿処理施設建設。
1973	昭和48年		鴻之舞小学校閉校。
1973	昭和48年		紋別地区消防組合発足。
1973	昭和48年	5月 24日	鴻之舞鉱山閉山。
1973	昭和48年	6月 10日	市長選。菅原啓2期目当選。
1973	昭和48年	8月	紋別市土地開発公社設立。
1973	昭和48年	11月	市立特別養護老人ホーム安養園開設。
1974	昭和49年		北海道産業学園と誘致協定。
1974	昭和49年		南が丘児童館落成。
1973	昭和48年		第3船揚場完成。
1974	昭和49年		道立紋別病院新築完成。
1974	昭和49年	3月 30日	コムケ湖が自然観光保護地域に指定。
1974	昭和49年	4月 19日	道立紋別高等看護学院開校。
1974	昭和49年		上渚滑地区プール完成。
1974	昭和49年	8月 10日	市の木(ナナカマド)、市の花(ハマナス)制定。
1974	昭和49年	9月 1日	市制20周年記念式典。
1974	昭和49年	10月 15日	紋別・丘珠DHC-6(19人乗り)就航。
1974	昭和49年	10月 30日	松田鉄蔵元衆議院議員死去。名誉市民の称号を贈る(11月)。市葬(11月8日)。
1974	昭和49年		道立紋別北高等学校新校舎完成。
1974	昭和49年		終末処理場において、し尿処理開始。
1974	昭和49年		公益質屋廃止。
1975	昭和50年	2月 10日	紋別市国連海洋法対策協議会設立。
1975	昭和50年	4月 22日	紋別港、道内10港目となる重要港湾に昇格。
1975	昭和50年	7月 1日	スポーツセンター開館。
1975	昭和50年		流氷展望台完成。
1975	昭和50年		上渚滑児童館落成。
1975	昭和50年		身体障害者福祉会館完成。
1975	昭和50年		ダイヤル不用品交換を開始。
1975	昭和50年	12月	「紋別港湾10カ年計画」策定。
1976	昭和51年		和訓辺小学校閉校。
1976	昭和51年		ニューポート市と姉妹都市提携10周年記念式。
1976	昭和51年		紋別漁業協同組合、ますふ化施設完成。
1976	昭和51年		第1回高齢者スポーツ大会開催。
1976	昭和51年		渚滑児童館、落石児童館完成。
1977	昭和52年		レクリエーションの森(景風林)に指定の北見富士、鳥獣保護区に指定。
1977	昭和52年	6月 5日	市長選。金田武4代市長に当選。
1977	昭和52年	6月 29日	大野広太郎死去。名誉市民の称号を贈る(30日)。市葬(7月5日)。
1977	昭和52年		新住居表示、潮見町から街区番号と住居番号(○番○号)に変更。他の区域も順次変更。
1977	昭和52年	12月 15日	紋別葬苑火入れ式。
1977	昭和53年	1月	紋別市統計協議会20周年記念式典。
1977	昭和53年	1月	林業研修宿泊センター開設。
1978	昭和53年	4月 23日	道都大学開学。
1978	昭和53年	6月	総合陸上競技場開設。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
1978	昭和53年		小樽検疫所紋別出張所設置。
1978	昭和53年		南が丘地区プール完成。
1978	昭和53年		日ソ友好親善使節団訪ソ。(サハリン州)
1978	昭和53年		海底ボーリング船第3白竜による紋別沖の石油試掘。
1978	昭和53年		市長を囲む移動相談室開設。
1978	昭和53年		大山児童センター落成。
1979	昭和54年	4月	「新紋別市総合計画」策定。
1979	昭和54年	7月 26日	開基100年、市制施行25周年式典挙行。
1979	昭和54年	7月 26日	「新紋別市史(上巻)」刊行。
1979	昭和54年	7月 15日	オホーツク森林公園オープン、タイムカプセル埋設。
1979	昭和54年	12月 22日	青少年健全育成都市宣言。
1980	昭和55年	2月 4日	紋別ローズタウンオープン。
1980	昭和55年	3月 31日	北海道紋別北高等学校の北鷗寮閉鎖。
1980	昭和55年	4月	過疎地域の指定外れる。
1980	昭和55年		紋別港、関税法に基づく開港指定。
1980	昭和55年		紋別港湾整備第6次5カ年計画策定。
1980	昭和55年		水産試験場紋別分場庁舎落成。
1980	昭和55年		道立紋別保健所庁舎落成。
1980	昭和55年		紋別運動公園広場躍動の像除幕。
1980	昭和55年		第1回もんべつ海産まつり開催。
1981	昭和56年	6月 14日	市長選挙。金田武2期目当選。
1981	昭和56年		紋別中央公園開園。
1981	昭和56年		紋別小学校新校舎落成。
1981	昭和56年		紋別・丘珠間YS-11型機就航。
1981	昭和56年		紋別バイパス鍬入式。
1981	昭和56年		紋別港北副防波堤燈台移設。
1981	昭和56年	11月	上渚滑地区体育館オープン。
1982	昭和57年	2月	紋別公園供用開始。
1982	昭和57年	3月	志文小学校廃校。
1982	昭和57年	4月 1日	紋別市農業協働組合と渚滑町農業協同組合合併。
1982	昭和57年	9月 25日	流氷都市宣言。
1982	昭和57年		南が丘公営住宅(セットバック型住宅)完成。
1982	昭和57年	12月	渚滑地区体育館開設。
1983	昭和58年	4月 1日	精神薄弱者授産施設「オホーツク福祉園」開園。
1983	昭和58年		「新紋別市史(下巻)」刊行。
1983	昭和58年		潮見小学校新校舎落成。
1983	昭和58年		オホーツク庭園開園。
1983	昭和58年		渚滑地区体育館オープン。
1984	昭和59年		市制施行30周年式典挙行。
1984	昭和59年		老人福祉センター開設。
1984	昭和59年		紋別海上保安部に二代目巡視船「そらち」就役。
1984	昭和59年	5月 24日	国道273号線浮島トンネル開通。
1985	昭和60年	3月 31日	国鉄渚滑線廃止。
1985	昭和60年	4月 1日	北海道紋別養護学校開校。
1985	昭和60年		南が丘中層公営住宅団地完成。
1985	昭和60年		旧ソ連200海里規制が強まりツブ(3隻)、ズワイカゴ(7隻)減船。
1986	昭和61年	2月	第1回北方圏国際シンポジウム開催。
1986	昭和61年		上渚滑町民センター完成。
1986	昭和61年		旧ソ連200海里規制が更に強まり沖合底曳船(7隻)を減船。
1987	昭和62年	2月 1日	流氷砕氷船「ガリンコ号」就航。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
1987	昭和62年	3月 31日	弘道小学校閉校。
1987	昭和62年		紋別中学校新校舎完成。
1987	昭和62年		渚滑市民センター完成。
1988	昭和63年	7月 5日	防犯都市宣言及び暴力追放都市宣言。
1988	昭和63年		紋別バイパス、一部供用開始。
1988	昭和63年		中渚滑地区多目的研修センター完成。
1988	昭和63年		みどり保育所改築。
1988	昭和63年		紋別医師会看護高等専修学校改築。
1988	昭和63年		学園地区道営住宅建設。
1989	平成元年	3月	紋別市統計協議会創立30周年記念式典開催。
1989	平成元年	4月 30日	JR名寄(本)線廃止。
1989	平成元年		紋別駅跡地に「ガリンコ朝市」オープン。
1989	平成元年		開基110年・市制施行35周年記念式典挙行。
1989	平成元年		紋別市文化会館落成。
1989	平成元年		「第3次紋別市総合計画基本構想」策定。
1990	平成2年	3月 28日	ゆとり創造宣言。
1990	平成2年	3月 31日	宇津々小学校閉校。
1990	平成2年		紋別市高齢者事業団設立。
1990	平成2年		菅原啓元紋別市長に名誉市民の称号。
1990	平成2年		新オホーツク紋別～千歳空港へ乗り入れにより復便化。
1990	平成2年		元紋別小学校改築。
1990	平成2年		花園中層公営住宅団地完成。
1990	平成2年		オホーツクニューシティ計画の策定。
1990	平成2年	12月	「紋別市健康プール(ステア)」オープン。
1991	平成3年	1月 12日	ロシア連邦サハリン州コルサコフ市と姉妹都市提携。
1991	平成3年		常陸宮殿下、同妃殿下ご来紋。
1991	平成3年	2月	道立オホーツク流氷科学センター(ギザ)オープン。
1991	平成3年	2月 8日	アメリカ合衆国アラスカ州フェアバンクス市と姉妹都市提携。
1991	平成3年		市役所OA化推進による住民情報システム稼働。
1991	平成3年	3月 31日	立牛小学校閉校。
1991	平成3年	3月 31日	上藻別小学校閉校。
1991	平成3年	5月 19日	第3セクターの紋別ニューシティー開発公社設立。
1991	平成3年		姉妹都市締結25周年を記念して、アメリカオレゴン州ニューポート市長外来紋。
1991	平成3年	8月 9日	サハリン州コルサコフ市代表団来紋。
1991	平成3年	8月 20日	第3セクターの(株)オホーツク流氷科学研究所設立。
1991	平成3年	9月 26日	高規格幹線道路、旭川・紋別自動車道上北トンネル着工。
1991	平成3年	11月 29日	第6次空港整備5ヵ年計画に紋別空港のジェット化(移転新設)採択。
1992	平成4年	2月 17日	元紋別小学校体育館完成。
1992	平成4年	3月 14日	元紋別小学校新校舎落成及び開校65周年記念式典挙行。
1992	平成4年	4月 2日	渚滑駅構内パークゴルフコースオープン。
1992	平成4年	5月 1日	室内ゲートボール場「そよかぜほーる」オープン。
1992	平成4年	7月 23日	潮見中学校新校舎落成。(体育館は5年10月完成予定)
1992	平成4年	9月 12日	学校週休5日制(第2土曜日のみ)スタート。
1992	平成4年	9月 30日	紋別無線方位信号所廃止。
1992	平成4年	10月 3日	高齢者ふれあいセンターオープン。
1992	平成4年	10月 4日	紋別小学校開校100周年記念式典挙行。
1992	平成4年	11月 29日	紋別地域森林関連産業労働組合連合会結成。
1992	平成4年		水産庁さけ・ますふ化場北見支場渚滑事業所新築。
1993	平成5年	2月 20日	市民大学講座開講。
1993	平成5年	4月 1日	北海道紋別北高等学校定時制の募集停止。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
1993	平成5年	4月 1日	更生施設「こまくさ学園」開園。
1993	平成5年	9月 5日	紋別地区消防組合設立20周年記念式典挙行。
1993	平成5年	10月 10日	紋別北高等学校創立50周年記念式典挙行。
1993	平成5年	10月 29日	大山山頂のテレビ中継局送受信アンテナ(オホーツクスカイタワー)が完成、試験電波発射。
1993	平成5年	12月 5日	39年間の歴史を刻んできた紋別市労協の解散大会が行われる。
1994	平成6年	4月 1日	災害時の医療救護活動に関する協定書を社団法人紋別医師会と交わす。
1994	平成6年	4月 29日	大山山頂園に「スカイタワー」オープン。
1994	平成6年	7月 1日	市民憲章制定30周年記念式典挙行。功労者表彰が行われた。
1994	平成6年	10月 8日	紋別市制40周年記念式典挙行。
1994	平成6年	10月 23日	紋別養護学校10周年記念式典挙行。
1994	平成6年	11月 1日	国道238号線紋別バイパスが開通。
1995	平成7年	2月 18日	紋別市保健センター落成記念挙行。
1995	平成7年	4月 11日	元紋別ガリヤ地区が、建設省の「道の駅」に指定される。
1995	平成7年	7月 1日	オホーツク交流センターオープン。
1996	平成8年	2月 12日	世界初の氷海観測展望施設「オホーツクタワー」と親水防波堤がオープン。
1996	平成8年	3月 31日	北海道紋別北高等学校定時制廃止。
1996	平成8年	3月 31日	中立牛小学校閉校。
1996	平成8年	3月 31日	道都大学美術学部移転。
1996	平成8年	4月 11日	紋別－札幌都市間バス運行開始。
1996	平成8年	5月 21日	道東六市(釧路市、帯広市、北見市、網走市、根室市)防災協定を締結。
1996	平成8年	7月	海洋交流館オープン。
1996	平成8年	10月 12日	紋別南高校創立40周年記念式典挙行。
1996	平成8年	11月 1日	「オホーツクインターネット」開局。
1997	平成9年	1月 20日	新流氷砕氷船「ガリコ号Ⅱ」就航式。
1997	平成9年	2月 18日	沼ノ上地区簡易水道通水式典挙行。
1997	平成9年	3月 2日	紋別漁業協同組合婦人部創立40周年記念式典挙行。
1997	平成9年	4月 1日	紋別市港湾合同庁舎開所式。
1997	平成9年	4月 16日	紋別高等養護学校開校。
1997	平成9年	4月 23日	紋別市婦人団体連絡協議会は「紋別市女性団体協議会」と名称変更。
1997	平成9年	5月 18日	上渚滑中学校開校50周年記念式典挙行。
1997	平成9年	6月 20日	藻別郵便局廃局。
1997	平成9年	6月 30日	市長選。赤井邦男5代市長に当選。
1997	平成9年	7月 1日	函館税関釧路税関支署紋別分室を「紋別出張所」に名称を変更。
1997	平成9年	8月 23日	紋別市青少年健全育成推進協議会創立20周年記念式典挙行。
1997	平成9年	9月 14日	中渚滑地区開基百年を祝う記念式典挙行。
1997	平成9年	9月 26日	銃器犯罪根絶に関する決議。
1997	平成9年	10月 5日	紋別飲料店組合創立40周年記念式典挙行。
1997	平成9年	10月 18日	紋別中学校開校50周年記念式典挙行。
1997	平成9年	11月 5日	災害時における北海道及び市町村相互の応援に関する協定を締結。(北海道、北海道市長会、北海道町村会)
1997	平成9年	12月 8日	紋別市ボランティアセンター発会式。
1997	平成9年	12月 13日	紋別市藻別保育園閉園式。
1998	平成10年	3月 6日	紋別市議会議員定数を26人から2人減の24人とする条例改正案を可決。
1998	平成10年	3月	「紋別市障がい者福祉計画」を策定。
1998	平成10年	4月 1日	紋別市農業共済と西紋農業共済が合併し「オホーツク中央農業共済組合」が発足。
1998	平成10年	4月 6日	市の資源ごみ分別収集がモデル地区の花園町で始まる。
1998	平成10年	4月 27日	JA紋別市農業協同組合創立50周年記念式典挙行。
1998	平成10年	5月 1日	オホーツク紋別空港～千歳線運航休止。
1998	平成10年		紋別パークゴルフ場(上渚滑)36ホールがオープン。
1998	平成10年	6月 1日	紋別産業会館が「紋別経済センター」に名称変更。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
1998	平成10年	6月 19日	紋別消防百年を記念して中央公園に記念碑建立。
1998	平成10年	7月 26日	第44回もんべつ観光港まつり、ディズニー人気で32万人と過去最高の入出。
1998	平成10年	8月 30日	橋本大二郎知事を迎えて高知県人会紋別支会発足。
1998	平成10年	9月 1日	紋別商工会議所創立50周年記念式典挙行。
1998	平成10年	9月 16日	台風5号が北海道に上陸、紋別にかつてない被害をもたらした。
1998	平成10年	10月 1日	西紋地区初の介護老人保健施設「サン・ヒルズ紋別」がオープン。
1998	平成10年	10月 5日	紋別ライオンズクラブ創立35周年記念式典挙行。
1998	平成10年	10月 11日	渚滑中学校開校50周年記念式典挙行。
1998	平成10年	10月 25日	紋別スキー協会創立50周年記念式典挙行。
1998	平成10年	11月 22日	紋別柔道協会創立50周年記念式典挙行。
1998	平成10年	12月 3日	市役所でパスポートの申請や交付ができる道内4番目の「移動窓口」開設。
1999	平成11年	2月 1日	日本水道協会北海道地方支部道東地区協議会と災害時相互応援に関する協定書を交わす。
1999	平成11年	2月 26日	紋別市統計協議会創立40周年記念式典挙行。
1999	平成11年	3月 10日	道内で25番目となる、紋別市シルバー人材センター発足。
1999	平成11年	3月	せせらぎ公園供用開始。
1999	平成11年	3月 31日	小向中学校閉校。
1999	平成11年	4月 14日	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団(紋別地域訪問看護ステーション・紋別地域ケアプラン相談センター・紋別市地域包括支援センター)が紋別市総合在宅ケアセンター内に開設。
1999	平成11年		渚滑ふれあいパークゴルフ場18ホールがオープン。
1999	平成11年	5月 1日	人工海水浴場「オホーツクもんべつホワイトビーチ」オープン。
1999	平成11年	5月 7日	渚滑高齢者ふれあいセンターオープン。
1999	平成11年	5月 25日	日専連紋別青年会創立30周年記念式典挙行。
1999	平成11年	5月 30日	渚滑町元新のせせらぎ公園オープン。
1999	平成11年	7月 3日	紋別信用金庫創立50周年記念式典挙行。
1999	平成11年	8月 13日	中渚滑小学校開校百年記念式典挙行。
1999	平成11年	9月 26日	紋別漁業協同組合創立50周年記念式典挙行。
1999	平成11年	10月 3日	上渚滑地区開基百年記念式典挙行。
1999	平成11年	10月 8日	紋別市中心市街地活性化推進協議会発足。
1999	平成11年	10月 15日	紋別市消費者協会創立30周年記念式典挙行。
1999	平成11年	11月 9日	オホーツクとっかりセンター「ゴマちゃんランド」オープン。
1999	平成11年	11月 10日	紋別空港 新空港へ移管のため廃止。丘珠線休止。
1999	平成11年	11月 11日	新オホーツク紋別空港開港(滑走路2000m)千歳線にジェット機就航。
2000	平成12年	2月 1日	1月末の住民基本台帳人口、65歳以上の高齢者が21.19%(6,072人)となり、20%を突破。
2000	平成12年	3月 10日	紋別高等養護学校開校以来初の卒業式。
2000	平成12年	3月	「紋別市中心市街地活性化基本計画」を策定。
2000	平成12年	3月 31日	沼ノ上中学校閉校。
2000	平成12年	4月 14日	上渚滑高齢者ふれあいセンター、オープン。
2000	平成12年	6月 2日	水産製品検査センター開所。
2000	平成12年	6月 17日	紋別青年会議所創立45周年記念式典挙行。
2000	平成12年	7月 1日	新オホーツク紋別空港に東京直行便就航。
2000	平成12年	8月 21日	紋別独自の交通安全運動始まる。
2000	平成12年	9月 23日	潮見小学校開校50周年記念式典挙行。
2000	平成12年	10月 1日	渚滑小学校開校100周年記念式典挙行。
2000	平成12年	10月 26日	紋別医師会看護高等専修学校で最後の戴帽式行われる。
2000	平成12年	11月 5日	上渚滑小学校開校100周年記念式典挙行。
2000	平成12年	11月 11日	新オホーツク紋別空港開港1周年記念式典挙行。
2000	平成12年	12月 13日	道路情報提供サービスに関する覚書を市内全郵便局と交わす。
2000	平成12年	12月 22日	NTT紋別営業所が窓口業務を終了。
2001	平成13年	1月 20日	沼の上小学校新校舎落成式典挙行。
2001	平成13年	3月 1日	紋別市・上渚滑町・滝上町・西興部村の西紋4農協が合併。「オホーツクはまなす農業協同組合」

西暦	年号	月日	できごと
			が発足。
2001	平成13年	3月 31日	新オホーツク紋別空港～千歳線運行休止。
2001	平成13年	4月 1日	新オホーツク紋別空港～丘珠線運行再開。
2001	平成13年	4月 9日	公認弁護士事務所「紋別ひまわり基金法律事務所」が北海道初、全国で3番目に開所。
2001	平成13年	6月 17日	市長選。赤井邦男二期目当選。
2001	平成13年	7月 13日	大規模流出油事故対策訓練が日露共同で行われる。
2001	平成13年	7月 20日	アメリカ・ニューポート姉妹都市35周年、サハリン・コルサコフ市姉妹都市10周年記念行事開催。
2001	平成13年	10月 3日	第12期女流王位戦(清水王位対中井五段)が紋別市で開催。
2001	平成13年	11月 3日	藻別小学校開校100周年記念式典挙行。
2001	平成13年	11月 17日	オホーツク健康プール「ステア」の利用者が市内施設初100万人突破。
2001	平成13年	11月 19日	旧紋別空港跡地に日独合弁のプレーキ・システム開発会社コンチネンタル・テーベス社の進出が決まり調印。
2001	平成13年	12月 8日	紋別市総合福祉センター・はーとびあ21オープン。
2001	平成13年	12月 13日	紋別市議会議員定数を24人から3人減の21人とする条例改正案を可決。
2002	平成14年	1月 21日	さいわいディサービスセンターがオープン。
2002	平成14年	1月 28日	オホーツク紋別FC(フィルムコミッション)が北海道の市町村で初の設立。
2002	平成14年	2月 12日	旧紋別空港跡にコンチネンタル・テーベス(株)テストコースが開所。
2002	平成14年	3月 1日	紋別医師会看護高等専修学校が開校。
2002	平成14年	3月 20日	市誘致企業の(株)オグラ宝石工業紋別製作所が撤退。
2002	平成14年	4月 1日	過疎地域指定を再び受ける。
2002	平成14年	4月 13日	紋別市立博物館開館。
2002	平成14年	7月 1日	紋別～丘珠間を結んでいたYS機に代りDHC-8機が就航。
2002	平成14年	7月 21日	議員定数が24名から21名に削減後初の市議会議員選挙が行われる。
2002	平成14年	7月 31日	「青少年サハリン友情の船」に紋別市から初めて中学生10人、引率2名が参加。
2002	平成14年	8月 5日	住民基本台帳ネットワークシステムの第1稼働が始まる。
2002	平成14年	9月 16日	スカイフェスタ2002in紋別が紋別空港を会場に開催。北海道初のアクロバット飛行。
2002	平成14年	9月 29日	小向農村公園が完成。
2002	平成14年	11月 28日	2004年開催に向けオホーツクDOいなか博推進委員会設立。
2002	平成14年	12月 24日	渚滑町元新(一部)の字名が元新1丁目～5丁目に変更。
2003	平成15年	2月 28日	紋別空港に初の関西・九州臨時便運行。(3月1日、7月4日、7月6日)
2003	平成15年	3月 25日	西紋別地区市町村合併調査研究会立ち上げ。
2003	平成15年	4月 16日	第3埠頭に3万トン級の大型船の入港可能な「水深12メートル岸壁」完成。
2003	平成15年	4月 28日	海鮮・生鮮市場アミューズメント複合店「オホーツク氷紋の駅」オープン。
2003	平成15年	5月 31日	オホーツク紋別球場完成。
2003	平成15年	7月 1日	一般ごみ・粗大ごみ有料化。
2003	平成15年	7月 9日	ガリンコⅡ、DOいなか博宣伝のため東京お台場へ。
2003	平成15年	7月 20日	鴻紋軌道記念碑除幕式。
2003	平成15年	8月 8日	全日本シーホッパー級ヨット選手権大会開催。
2003	平成15年	9月 30日	新オホーツク紋別～丘珠線廃止。
2003	平成15年	10月 1日	紋別・興部・西興部の三森林組合が合併し「オホーツク中央森林組合」となる。
2003	平成15年	11月	外国貨物船入港累計1万隻を達成。
2003	平成15年	11月 2日	沼ノ上小学校開校100周年記念式典。
2004	平成16年	2月	新オホーツク紋別～千歳線、2月限定で就航。
2004	平成16年	3月	「紋別市緑の基本計画」策定。
2004	平成16年	3月 31日	中渚滑小学校休校。
2004	平成16年	4月 1日	北海道大学低温科学研究所附属流水観測施設が閉鎖。
2004	平成16年	5月 1日	DOいなか博開幕。(～平成17年3月21日)
2004	平成16年	5月 28日	ふるさと切手「流氷とガリンコ号」が日本郵政公社から発売。
2004	平成16年	8月 1日	紋別市制施行50周年記念式典挙行。
2004	平成16年	10月 11日	紋別・羽田便を利用した航空貨物事業スタート。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
2004	平成16年	10月 21日	「流氷とガリンコ号」が北海道遺産に認定。
2004	平成16年		市内の木材関係企業が森林認証(SGEC)取得。
2005	平成17年	3月	「紋別市男女共同参画プラン(平成17～26年度)」を策定。
2005	平成17年	3月	「ガリンコ朝市」営業終了。
2005	平成17年	3月 31日	藻別小学校閉校。
2005	平成17年	3月 31日	道都大学社会福祉学部が北広島キャンパスへ移転。
2005	平成17年	4月	「紋別市次世代育成支援行動計画(前期計画・平成17～21年度)」を策定。
2005	平成17年	6月 30日	市長選、宮川良一6代市長に当選。
2005	平成17年	7月 4日	新オホーツク紋別～丘珠線、期間限定で就航。(～11月15日)
2005	平成17年	10月 1日	収入役を置かず、収入役事務は助役が兼掌。
2006	平成18年	1月 16日	北海道大学低温科学研究所が大江山頂にドップラーレーダを設置。海氷と雪雲を研究観測。
2006	平成18年	2月 4日	新オホーツク紋別～千歳線、期間限定で就航。(～2月26日)
2006	平成18年	3月	構造改革特別区域計画「オホーツク紋別地域外国人研修生受入特区」認定。
2006	平成18年	3月	「紋別市地域福祉計画」を策定。
2006	平成18年	3月	「紋別市障がい者計画・紋別市障がい福祉計画(平成18～21年度)」を策定。
2006	平成18年		紋別運動公園、南が丘第1号公園供用開始。
2006	平成18年	6月	道道紋別丸瀬布線金八峠のトンネル掘削工事着工。
2006	平成18年	6月 28日	災害時における応急生活物資等の供給協力に関する協定を5社と締結。(コープさっぽろ・イオン北海道(株)・(株)しめまる・北雄ラッキー(株)・ホームマック(株))
2006	平成18年	7月 1日	新オホーツク紋別～千歳線、期間限定で就航。(～11月30日)
2006	平成18年	7月 30日	アメリカ・ニューポート姉妹都市提携40周年、ロシア・コルサコフ姉妹都市提携15周年記念行事開催。
2006	平成18年	10月 7日	台風並みの低気圧、河川流域の住民に避難勧告、大きな被害をもたらした。(～9日)
2006	平成18年	11月	大型の企業誘致、よつ葉乳業北見工場内に生クリーム工場建設が決定し、工事着工。
2006	平成18年	11月 15日	千島列島で地震が発生し、津波警報が発令され、海岸住民に避難勧告が出された。
2006	平成18年	12月	第4防波堤完成。
2006	平成18年	12月	紋別港、カニ輸入量日本一を達成。(～平成21年まで4年連続)
2007	平成19年	2月 28日	新オホーツク紋別～千歳線、丘珠線廃止。
2007	平成19年	2月	「紋別市国民保護計画」を策定。
2007	平成19年	3月	紋別市子どもの読書活動推進計画(第一次)策定。
2007	平成19年	3月 31日	北海道紋別南高等学校閉校。
2007	平成19年	4月 1日	本町4丁目の空き店舗にまちなか休憩所設置。
2007	平成19年	4月 1日	北海道紋別高等学校開校。
2007	平成19年		「新修紋別市史」刊行。
2007	平成19年	6月 11日	まちなか住宅建設開始。
2007	平成19年	9月 6日	災害時における要援護者等の避難輸送協力に関する協定書を3社と交わす。(北紋バス株式会社・富士ハイヤー株式会社・紋別観光ハイヤー株式会社)
2007	平成19年	10月 1日	気象庁紋別測候所、特別地域気象観測所へ移行し無人化。
2007	平成19年	11月	「よつば乳業株式会社オホーツク北見工場」稼働。
2007	平成19年	11月 17日	紋別小学校金管バンド、初の全国大会・全日本小学校バンドフェスティバルに出場。
2007	平成19年		市を中心とする網走西部流域が日本一の森林認証(SGEC)エリアを形成。
2008	平成20年	3月 1日	初の韓国映画ロケ「Oishii Man (おいしいマン)」(1日～15日)
2008	平成20年	3月	「紋別市障がい福祉計画(平成20～23年度)」を見直し策定。
2008	平成20年	4月 21日	災害時における応急対策業務に関する協定書を北見地区電気工事業協同組合紋別支部と交わす。
2008	平成20年	5月 1日	旧NTTラインマンセンターを改修し、まちなか芸術館オープン。
2008	平成20年	6月 10日	災害時における北海道及び市町村相互の応援に関する協定締結。
2008	平成20年	6月 20日	災害時における燃料等の供給協力に関する協定書を紋別地方石油業協同組合と交わす。
2008	平成20年	6月 20日	災害時における応急対策業務に関する協定書を紋別建設業協会、紋別土木協会、紋別水道工事協会、紋別管工事協会、紋別板金組合と交わす。
2008	平成20年	6月 20日	災害時発生時における協力に関する協定を郵便事業株式会社紋別支店と交わす。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
2008	平成20年	7月	森から海の連環を考えるシンポジウムの開催。
2008	平成20年	9月 1日	紋別市内循環バス実証実験開始。
2008	平成20年	10月 1日	ふるさと納税寄付制度新設。
2008	平成20年	10月 23日	上藻別駅通が登録文化財に。
2008	平成20年	10月 28日	西紋広域ごみ処理 検討段階から推進体制に向けて合意。
2008	平成20年	11月 1日	北海道紋別北高等学校開校式。
2008	平成20年	12月	紋別文化連盟、NPOとしての活動スタート。
2008	平成20年	12月	「第5次紋別市総合計画(平成21～30年度)」を議決。
2008	平成20年	12月 22日	地上デジタル放送、紋別デジタル局で試験放送開始。
2009	平成21年	2月	「紋別市地域公共交通総合連携計画(平成21～23年度)」を策定。
2009	平成21年	3月	上渚滑診療所建替完成。
2009	平成21年	3月 15日	紋別漁協の地方卸売市場が完成。組合創立60周年記念式典。
2009	平成21年	3月 31日	北海道紋別北高等学校閉校。
2009	平成21年	5月 2日	交流拡大プロジェクト スポーツ合宿誘致。(2日～)
2009	平成21年	5月 4日	元、紋別市長 金田武(名誉市民)ご逝去。追悼式。(23日)
2009	平成21年	5月 11日	オホーツクはまなす農業協同組合 本所事務所が落石町に完成。移転。
2009	平成21年	6月 14日	市長選、宮川良一2期目当選。
2009	平成21年	6月 26日	姉妹都市交流事業 コルサコフ市から高校生が来紋。(26日～7月1日)
2009	平成21年	7月 27日	金八トンネル開通。
2009	平成21年	8月 4日	紋別市休日夜間急病センター開設。
2009	平成21年	8月	紋別市防災会議において「紋別市地域防災計画」を策定。
2009	平成21年	8月	紋別市統計協議会創立50周年式典。
2009	平成21年	9月 2日	西紋の広域ごみ処理施設、新生地区に建設で合意。
2009	平成21年	10月	紋別除雪事業開始。(国道238号、湧別町川西～紋別市小向約15km)
2009	平成21年	10月 2日	社団法人紋別観光協会創立50周年記念式典挙行。
2009	平成21年	11月 1日	新オホーツク紋別空港開港10周年。
2009	平成21年	11月 15日	道立オホーツク流氷公園一部開園。あおぞら交流館オープン。
2009	平成21年	11月 24日	紋別信用金庫、北見信用金庫と合併し解散。
2009	平成21年	12月 22日	(株)リテックと産業廃棄物最終処分場について「公害防止協定」を締結。
2009	平成21年	12月 31日	渚滑橋共用開始。
2010	平成22年	3月 1日	災害時における飲料の提供等に関する協定をサントリーフーズ(株)と締結。
2010	平成22年	3月	「紋別市地域福祉計画」を見直し策定。
2010	平成22年	3月	北海道農業研究センター紋別試験地廃止。
2010	平成22年	4月 1日	市立安養園、民間法人に運営移管。
2010	平成22年	4月 1日	「紋別市次世代育成支援行動計画(後期計画・平成22～26年度)」策定。
2010	平成22年	4月 19日	認証材活用住宅助成事業補助金の交付開始。
2010	平成22年	4月 20日	オホーツク遠紋地域産業活性化協議会設立。
2010	平成22年	4月 21日	災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定を北海道コカ・コーラボトリング(株)と締結。
2010	平成22年	6月 3日	新オホーツク紋別空港、ターニングパット供用開始。
2010	平成22年	7月 1日	新オホーツク紋別空港、東京直行便就航10周年。
2010	平成22年	8月 1日	議員定数が21名から18名に削減後、初の市議会議員選挙が行われる。
2010	平成22年	8月 7日	道立オホーツク流氷公園、海と大地の遊び場オープン。
2010	平成22年	8月	紋別市子どもの読書活動推進計画(第二次)策定。
2010	平成22年	9月	「紋別市国民保護計画」を見直し策定。
2010	平成22年	9月 27日	道立紋別病院の移管について北海道と正式合意。西紋別地区と北海道が覚書締結。
2010	平成22年	10月 23日	上藻別駅通保存会に手づくり故郷賞認証。
2010	平成22年	10月 25日	災害等の発生時における紋別市と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定書を北海道エルピーガス災害対策協議会と交わす。
2010	平成22年	11月 12日	道立紋別病院の移管について運営主体となる広域紋別病院企業団の設立が許可。
2010	平成22年	11月 29日	紋別市地域商品券「ガリン」販売。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
2010	平成22年	12月 21日	三室番屋の船蔵復元。
2011	平成23年	1月	「流氷あいすらんど共和国」が北海道開発局「わが村は美しく～北海道」運動コンクール、人の交流部門で銅賞を受賞。
2011	平成23年	2月 9日	ANA(全日本空輸)と「森づくり協定」を締結。
2011	平成23年	2月 9日	東京都港区と「国産材の活用促進に関する協定」を締結。
2011	平成23年	3月 24日	北海道オホーツク総合振興局と「森林資源管理の取組に関する協定書」を締結。
2011	平成23年	3月 30日	紋別市商店街振興組合連合会が解散。
2011	平成23年	3月 31日	沼ノ上小学校、中渚滑小学校廃校。
2011	平成23年	4月 1日	道立紋別病院が移管され、広域紋別病院として運営開始。
2011	平成23年	4月 1日	紋別市内循環バス2路線(北回り・南回り)本格運行。
2011	平成23年	4月 8日	紋別商工会議所に青年部が設立。
2011	平成23年	5月 10日	北海道電気保安協会と災害発生時の電気設備応急復旧活動支援に関する協定を締結。
2011	平成23年	5月 31日	日榮畜産有限会社と紋別市買物弱者支援事業に関する協定を締結。
2011	平成23年	7月 3日	保護したアザラシに衛星発信機を取り付け、リリース後初めての行動追跡調査。
2011	平成23年	7月 9日	道立オホーツク流氷公園にオホーツクラベンダー畑オープン。
2011	平成23年	7月 23日	ロシア・コルサコフ市、姉妹都市提携20周年を記念し、親善訪問団が植樹。
2011	平成23年	8月 19日	名誉市民、元北海道議会議長 新沼 浩 逝去。市葬。(9月5日)
2011	平成23年	9月 24日	紋別オホーツクスポーツ少年団、2011ファイターズジュニア王座決定戦で優勝。
2011	平成23年	10月 6日	東日本高速道路株式会社NEXCO(ネクスコ)東日本北海道支社旭川管理事務所より、高速道路の利用向上・拡大に協力したとして、自治体としては初の感謝状を贈られる。
2011	平成23年	10月 11日	戸籍事務の電算化。サービス開始。
2011	平成23年	10月 20日	緊急情報を市内存在のNTTドコモの携帯電話に一斉送信する「緊急速報メール」を導入。
2011	平成23年	10月 28日	テレビ北海道(TVh)網走中継局で試験放送開始。市内一部地域で試聴可能になる。
2011	平成23年	10月 28日	新オホーツク紋別空港、ANA東京直行便が運休、千歳空港経由東京便となる。
2011	平成23年	11月 3日	紋別市身体障がい者福祉協会創立50周年記念式典。
2011	平成23年	11月 15日	メディカルウイング(旧ドクタージェット)の研究運航が始まる。
2011	平成23年	11月	ドクターヘリ用の燃料補給基地(燃料保管庫)を大山町4丁目に設置、運用開始。
2011	平成23年	12月 18日	公設法律事務所「流水の町ひまわり基金法律事務所」が開設。道内唯一のワン地域解消。
2011	平成23年	12月 27日	広域紋別病院企業団、改築基本構想で紋別北高跡地を新病院建設候補地として選定。
2012	平成24年	2月 1日	新オホーツク紋別空港、ANA東京直行便復活。
2012	平成24年	2月	新オホーツク紋別空港、国内の空港で初の「カーボンオフセット」を実施。
2012	平成24年	2月 22日	災害により紋別海上保安部庁舎が使用不可の場合に、市文化会館を一時的機能移転先とする施設使用協定を締結。海上保安部として全道初の協定。
2012	平成24年	3月 2日	森林認証による持続的な森林経営の取り組み、「2011国際森林年」での積極的な記念行事展開に対し林野庁長官感謝状を受賞。
2012	平成24年	3月	「紋別市健康増進計画(平成24～28年度)」を策定。
2012	平成24年	3月	「紋別食育プラン(紋別市食育推進計画)」を策定。
2012	平成24年	4月 1日	紋別市地域公共交通活性化協議会、上藻別線デマンドバスを本格運行。
2012	平成24年	4月 1日	太陽光発電システム設置補助、資金貸付を行う「太陽光発電システム設置推進事業」開始。
2012	平成24年	4月 14日	作曲家・ピアニストの宮川彬良さんを「紋別市PR大使」として委嘱。10人目。
2012	平成24年	4月 30日	4月末住民基本台帳人口24,276人、世帯数12,177世帯、1世帯平均人員が1.99人となり2人を割る。
2012	平成24年	6月 5日	中立牛地区森林整備推進協定団地(市有林/国有林)を設定する協定を網走西部森林管理署西紋別署と締結。
2012	平成24年	6月 15日	市有地でメガソーラー(大規模太陽光発電所)建設の実施協定をソーラーウェイ株式会社と締結。
2012	平成24年	6月	アザラシの発信器装着リリース(放獣)の行動追跡調査を行う契約を北海道大学北方生物圏フィールド科学センターと締結。
2012	平成24年	7月	ごみの新区分(可燃ごみ、不燃ごみ、金属類、資源ごみ、危険ごみ、粗大ごみ)の分別収集開始。
2012	平成24年	7月 27日	旭山動物園から逃げ出したヨーロッパフクロウ、コムケ湖に滞在。(～10月29日まで滞在確認)
2012	平成24年	8月 4日	紋別港港湾管理者設置60周年記念事業として帆船「日本丸」が8年ぶりに寄港。
2012	平成24年	9月 12日	「緊急速報エリアメール」au・ソフトバンクの携帯電話にも配信開始。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
2012	平成24年	10月	紋別市子ども会が「アジア国際子ども映画祭」北海道ブロック奨励賞を受賞。
2012	平成24年	10月 28日	新オホーツク紋別空港、ANA東京直行便が運休、千歳空港経由東京便となる。
2013	平成25年	1月	「もんべつ市民便利帳」発刊。
2013	平成25年	1月 4日	西紋別地区一般廃棄物処理施設、平成24年10月からの試験運転を経て本格稼働。
2013	平成25年	1月 21日	市役所公式フェイスブック公開。
2013	平成25年	2月 1日	新オホーツク紋別空港、ANA東京直行便再開。
2013	平成25年	3月 1日	2月末の住民基本台帳人口、65歳以上の高齢者が30.16% (7,313人)となり、30%を突破。
2013	平成25年	3月 1日	公示地価の商業地で本町5丁目が16パーセント下がり、全国1の下落率。
2013	平成25年	3月	「紋別市環境基本計画(平成25～34年度)」を策定。
2013	平成25年	3月	「紋別市男女共同参画プラン」を見直し策定。
2013	平成25年	4月 1日	3月末の住民基本台帳人口が23,941人となり、24,000人を割る。
2013	平成25年	4月 1日	中学生までの医療費を全額補助する「子ども医療費助成制度」開始。
2013	平成25年	4月 8日	道北9市(旭川市・留萌市・稚内市・芦別市・士別市・名寄市・深川市・富良野市)災害時相互応援協定を締結。
2013	平成25年	4月 27日	鴻之舞鉱山閉山40周年記念事業、札幌交響楽団公演・宮川彬良さんコンサート開催。
2013	平成25年	5月	「紋別市まちづくりビジョン」を策定。
2013	平成25年	6月 1日	南が丘児童館、旧鈴蘭保育園舎を改修し移転、開館。
2013	平成25年	6月 15日	交通事故死ゼロ300日達成。
2013	平成25年	6月 16日	市長選、宮川良一3期目当選。
2013	平成25年	7月 1日	指定ごみ袋等のごみ処理手数料改定。
2013	平成25年	7月 6日	「まちなかラベンダーガーデン」開園。
2013	平成25年	7月 7日	紋別地区消防組合、設立40周年記念式典挙行。
2013	平成25年	7月 22日	サイバー攻撃・サイバー犯罪に対する共同対処の協定を北海道警察北見方面本部と締結。
2013	平成25年	7月 28日	「紋別市まきばの広場パークゴルフ場」オープン。運動公園と大山のパークゴルフ場閉鎖。
2013	平成25年	8月 20日	木質バイオマス火力発電所誘致推進本部を設置。
2013	平成25年	8月 27日	広域紋別病院の移転改築先(旧紋別北高跡地)で安全祈願祭。
2013	平成25年	10月 1日	落石町2丁目で住居表示を実施。
2013	平成25年	10月 6日	プロ野球選手OBを招いて「宝くじスポーツフェア・ドリームベースボール」開催。
2013	平成25年	10月 22日	住友林業株式会社と住友共同電力株式会社が林地残材や間伐材等を利用した国内最大規模の木質バイオマス発電所建設を発表。(平成28年12月運転開始予定)。
2013	平成25年	10月 27日	新オホーツク紋別空港、ANA東京直行便が運休、千歳空港経由東京便となる。
2013	平成25年	11月 23日	紋別小学校金管バンド、7年連続の全国大会となる全日本小学校バンドフェスティバルに出場。初の金賞受賞。
2013	平成25年	11月 29日	テレビ北海道(TVh)紋別中継局開局。
2013	平成25年	11月 30日	流氷あいすらんど共和国、30年の節目を記念し祝賀会。
2013	平成25年	12月 6日	NPO法人紋別文化連盟(文芸オホーツク編集委員会)、北海道地域文化選奨特別賞を受賞。
2013	平成25年	12月 12日	紋別市議会議員定数を18人から2人減の16人とする条例改正案を可決。
2013	平成25年	12月 12日	オホーツク・テロワール発行の情報誌「HARU(ハル)」が「日本フリーペーパー大賞2013」受賞。
2013	平成25年	12月 26日	NPO法人紋別文化連盟、道内4団体目の「認定NPO法人」として認定。
2014	平成26年	1月 24日	紋別港、北海道開発局の北海道みなとオアシス「もんべつ」として登録を受ける。
2014	平成26年	2月 1日	新オホーツク紋別空港、ANA東京直行便再開。
2014	平成26年	3月 7日	「紋別市水道ビジョン」を策定。
2014	平成26年	3月 25日	市、市教育委員会、紋別警察署と暴力団等の排除に関する協定を締結。
2014	平成26年	3月 28日	紋別中学校吹奏楽部が全国大会で金賞受賞。(第16回日本ジュニア管打楽器コンクール)
2014	平成26年	6月 7日	プロ野球北海道日本ハムファイターズ地域出張イベント「北海道スマイルキャラバン」が開催。6月7日・8日(海洋公園イベント広場)
2014	平成26年	6月 28日	紋別市観光大使を務める作曲家・ピアニスト、宮川 彬良さんコンサート「心deバレエ」開催
2014	平成26年	7月 4日	ふるさと再発見！NHK公開録音が行われる。(紋別市市制60周年、市民憲章制定50周年事業)
2014	平成26年	7月 13日	議員定数18名から2名減の16名となり、紋別市市議会議員選挙が行われる。
2014	平成26年	7月 18日	紋別観光協会のマスコット「流氷紋太」に特別住民票が与えられる。

西 暦	年 号	月 日	で き ご と
2014	平成26年	7月 29日	「ラジオ体操・みんなの体操会」が開催される。(陸上競技場)
2014	平成26年	8月 31日	紋別市市制施行60周年記念式典挙行。
2014	平成26年	9月 13日	出張！なんでも鑑定団in紋別公開収録。(紋別市市制60周年事業)
2014	平成26年	10月 1日	登録制メール配信システム「メール@もんべつ」の運用開始。
2014	平成26年	10月 5日	北海道立オホーツク流氷公園開園5周年・全面開園記念祭。(10月4日・5日)
2014	平成26年	10月 22日	紋別バイオマス発電所との公害防止協定書締結。
2014	平成26年	11月 1日	落石町3丁目で住居表示を実施。
2014	平成26年	11月 8日	紋別中学校吹奏楽部が全国大会で最優秀グランプリ賞、文部科学大臣賞を受賞。 (第20回日本管楽合奏コンテスト全国大会)
2015	平成27年	2月 15日	第30回北方圏国際シンポジウム開催。(2月15日～19日)